

伊予里 市議会だより

第40号

平成24年
(2012年) 1月



だいすき日本 ♪ (愛育園/いまり秋祭り)

12月補正額： 1億4,337万円
予算総額： 224億3,700万円
(対前年度同期 △2億9,419万円△1.3%)

■特集

日本海側機能別拠点港に
選定されました!!
(国際海上コンテナ港)

★平成24年第1回定例会は3月2日(金)開会予定です。

平成23年伊万里市議会第4回定例会
会 期 日 程

平成23年12月2日～21日
開議時刻 午前10時

12月

日	種 別	内 容
2(金)	本会議	開 会 会議録署名議員の指名 会期の決定 市長提出議案31件一括上程 市長提出議案の提案理由説明
6(火)	本会議	議案に対する質疑
7(水)	本会議	議案に対する質疑 議案の常任委員会付託
8(木)	休 会	特別委員会（交通・港湾・企業誘致対策）
9(金)	休 会	特別委員会（防災・環境施設整備対策）
12(月)	本会議	一般市政に対する質問
13(火)	本会議	一般市政に対する質問
14(水)	本会議	一般市政に対する質問
15(木)	休 会	常任委員会
16(金)	休 会	常任委員会
19(月)	休 会	正副委員長会
21(水)	本会議	意見書（案）の上程 常任委員会報告 常任委員会報告に対する質疑 特別委員会中間報告 決算審査特別委員会報告 特別委員会中間報告に対する質疑 決算審査特別委員会報告に対する質疑 議案の付議順序により討論、採決 議会議案等の討論、採決 閉 会

議会ホットコーナー

◎市民会館北側交差点の問題解決へ

大坪・木須線が開通したものの、市民会館北側で行き止まり（その先が冠水地帯で排水対策が必要なため）で、大型車が通学路へ流入するなどの問題が発生していましたが、今回、県の事業で5年以内に改良される見込みとなりました。



定例会会期日程など

意見書

- 放射線による被害対策の早期実施を求める意見書
3月11日に、東日本を襲った地震によって発生した福島第一原子力発電所の事故による、放射性物質の拡散が農業をはじめわが国の産業に多大なる影響を及ぼしている。そのため、災害の復旧・復興はもとより、放射線による被害対策を早期に実施されるよう強く要望する。
- APECでのTPP交渉参加表明に抗議する意見書
国会審議における閣僚間の意見の食い違いや日米両政府間に矛盾が生じるなど、TPPを巡る混乱に拍車がかかっている。TPP参加交渉にあたっては国民への説明責任を十分果たしてのち行われるよう、強く要望する。
- 郵政改革法案の早期成立を求める意見書
現行法では、公共性や地域性が失われる恐れがあり、住民生活に不便を強いられるようになることが懸念される。郵便局が引き続き維持され、地域社会において有効活用できよう、郵政改革法案の早期審議入りと法案を成立させるよう強く要望する。

以上、国会および政府に提出しました。

人権擁護委員の推薦

田中由起子さんと岩永孝雄さんを推薦することに同意しました。

教育委員の交代

水上廣子さんの任期満了により、新たに鈴山幸子さんの任命に同意しました。
水上さんは平成12年にご就任以来、伊万里市の教育行政に貢献されました。議会からも、心から感謝申し上げます。

特集 「日本海側機能別拠点港」に選定されました

伊万里港

平成24年度
完了目標

国際
コンテナ貨物
ターミナル

「日本海側機能別拠点港」

2011年11月11日選定決定!!



整備中の伊万里港全景

■背景

伊万里港は天然の良港で「伊万里津」の港として焼物のつみ出し港として大いに栄えた歴史がある。昭和の初期からは石炭産業の盛衰をへて、現在の伊万里港の姿があります。

■現況

コンテナ貨物取扱量は九州第4位である。過去10年間で約3倍の伸びを示しているが、この3年間は横ばいを続けています。

■港の優位性

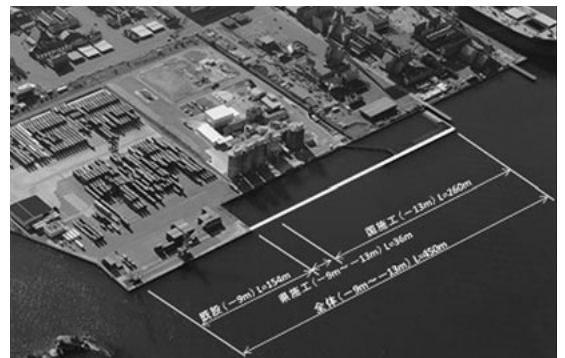
第一に、水深の深い天然の良好である。第二に、グローバル化の時代に韓国、中国、アジアとの経済交流圏のなかで、最も至近距離にあるのが伊万里港です。

■課題

1日でも早いアクセス道（西九州自動車道・臨港道路等）の完成を目指し、アジアの多くの港への流通拡大を進めてほしいところです。「国際海上コンテナ港」機能で選定されていることから、浦ノ崎失効地を含めた浦ノ崎廃棄物海面処分場の工業団地化としての有効利用が求められているところです。



ガントリークレーン新設（イメージ）



伊万里港国際物流ターミナル拡張整備

■岸壁(-9m) 154m [1バース] □岸壁(-9m~-13m) 450m [2バース]

★波及効果予測

年間 832 億円

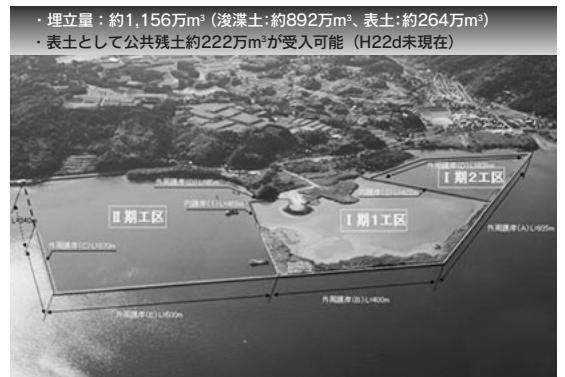
(佐賀県試算による平成37年度予測)



船の安全安心を守る「影」の立役者

100トン以上が
国際化の標準!!

※ビット（係船柱）船をロープで岸壁に繋ぐ柱。
100トン-9基50トン-5基が設置されます。



浦の崎廃棄物海面処分場



整備が進む伊万里港 11/20

総務委員会

★所管 総務部、政策経営部、市民部(戸籍・住民登録等)、会計課、消防本部、選挙管理委員会、監査委員、他の委員会に所属しない事項

本委員会に付託されました条例議案1件、一般議案1件、補正予算1件について審査した結果、原案のとおり可決すべきものと決定しました。主な内容は以下のとおりです。

《税条例の改正》

地方税法改正に伴う条例改正。これまで5千円だった寄付金税額控除の適用下限を2千円に引き下げ、控除対象額を拡大するもので、24年度課税から適用となります。

行政視察報告 (10月18日～20日)**東京都町田市 (市民討議会)**

審議会、アンケート、パブリックコメントなど、市民の意見を行政に反映させるにはいろいろな手段があるが、いずれもその案件について関心の高い人の意見がメインとなるため、より広く意見を聞き、耕す必要がある。そこで近年注目されているのが、市民討議会(プレーンクスツェレ)である。誰もが気軽に発言できるようなテーマを選び、無作為抽選により選ばれ、案内状に応えた市民を参加討議者とし、討議の前には複数の専門家などから情報や多様な意見を聞く。その後、グループ討議で意見抽出・集約し合意形成。土曜日の午後と日曜日の10時から15時に会を持ち、謝礼は5千円。結果は行政に提出され、マスコミなどを通じて公表される。

町田市は青年会議所からの提案を受け、2007年度に初めて行い、その後毎年開催。

伊万里でも是非行ってみたい手法であり、開催手法などについて詳細を学ぶことができた。

神奈川県厚木市**(ワンストップサービス、福祉総合窓口)**

手続きのため来庁された市民が、可能な限り1ヶ所で用件が済ませられるように窓口を再編成。1階・2階を「相談エリア」「子育て・高齢エリア」「各種証明書・国保・年金エリア」「税エリア」の4エリアとし、エリア毎に色分け表示するなどの工夫があり、1階にはフロア

《補正予算》

今回の補正の主なものは、一般職の職員の給与改訂に伴うもの、補助事業の確定に伴うものです。

4月に行われた県議会議員選挙での経費はトータルで1,982万3千円(全て県費)、市議会議員選挙では3,982万3千円でした。

消防費では、財団法人自治総合センターの助成を受け、火災予防啓発活動に必要な資器材として、幼年消防用鼓笛セットを伊万里幼稚園、カトリック幼稚園に配備する予算40万円、液晶プロジェクター等を消防本部へ配備する予算100万円があります。鼓笛セットは、これまでも多くの保育園などに配備され、かわいい演奏がなされています。

マネージャーを配置し、市民の利便性が図られている。また、相談エリアでは法律相談等の他、こころの健康などの相談まで全部で15相談業務を担当し、課等の苦情処理などを安易に回さないことにしている。個室の相談室が完備され、警察官OBも常駐している。

伊万里市役所でも各種証明書の多くは1階で発行できるようになっているが、先進事例を学び、更なる利便性向上について考えるための参考になった。

神奈川県茅ヶ崎市**(議会基本条例、決算審査における事業評価)**

議会基本条例については、検討を始めてからはほぼ毎月検討会を開催し、約3年弱で制定。議会報告会も開催されている。佐賀県内でも次々と制定が進む中、伊万里市議会では検討すべき項目に挙げており、昨年度総務委員会で視察した京丹後市等も合わせて参考にしつつ、今後の重要な課題の一つであると認識している。

決算審査については、伊万里市議会の従来のやり方に限界を感じていたため、視察先に選んだが、事業評価を用いることによって、翌年度の予算編成に反映することが可能となっていた。ぜひ来年度の決算審査から参考にしたい事例であった。

◎渡邊 英洋 ○盛 泰子
内山 泰宏 東 真生 副島 明
馬場 繁 山口 恭寿 松永 孝三

文教厚生委員会

★所管 市民部（保健・福祉・環境・人権同和）、教育委員会、市民病院

当委員会に付託されました条例議案2件、一般議案3件、補正予算4件、決算議案1件について審査に結果、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

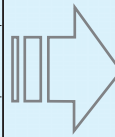
＜条例の一部改正＞

●乳幼児の医療費の助成に関する条例・・・県の補助制度の改正に伴い、乳幼児の医療費の助成について助成額を改定し、助成方法を現物給付に変更、改定するものです。

●開始予定時期：平成24年4月診療分から

●対象者：0歳から就学前までの子ども

名称	現 行		
	乳幼児医療費助成		
対象年齢	3歳未満	3歳以上就学前	
助成方法	窓口定額一部払方式 (現物給付)	窓口全額支払還付方式 (償還払い)	
保護者負担額	300円/レセプト ★1	500円/レセプト	
補助対象経費	医療費(入院・通院) 審査支払事務費 国保ペナルティ★2	医療費(入院)	医療費(入院外)
県・市の負担割合	県1/2 市1/2	県1/4 市3/4	市10/10



改 正
子どもの医療費助成
0歳以上就学前
窓口定額一部払方式 (現物給付)
1つき1医療機関あたり ①通院：上限500円を2回まで ②入院：上限1,000円
医療費(入院・通院) 審査支払事務費 国保ペナルティ
県1/2 市1/2

＜補正予算＞

地域共生ステーション防災対策整備に80万円（スプリンクラー設置等）。安心子ども基金から公共施設3か所。民間事業所9か所におむつ交換台、ベビーキープ等外出しやすい環境整備に384万2千円。

小・中学校各種大会出場支援事業として91万3千円。中体連の九州大会、全国大会出場校に5校。音楽コンクール九州大会出場校2校への助成です。自治公民館新築事業に969万6千円。4公民館の建物部分に対し、対象経費の20%。上限250万円までの助成です。

行政視察報告（10月25日～27日）

滋賀県長浜市（歴史的風致維持計画）

当市では城下町としての歴史資源があり、豊かな歴史、文化、伝統が残って受け継がれる中、近年祭りを支える後継者の減少や、歴史的建物の老朽化などの課題がしだいに深刻になってきていたが、H20年の国の「歴史まちづくり法」をきっかけに①歴史的建造物の保存と活用②歴史的町並み景観の保存と活用③祭礼行事等の伝統的文化・工業技術の継承を柱に、歴史的風致の維持向上の10年間の計画を作成。それを機に国の重点的な支援を活用し、建物の保存・修理や道路修理、歴史的町並みと調和した店舗・住宅等の改修保存に対しても助成事業が行われている。歴史的資産の活用とそこに住む人々との一体感がより魅力的な街づくりを形成していた。計画の早期策定が国・県予算確保に大いに関係があることを痛感する。

近江八幡市（地域福祉相談課）

当市は早くから地域に拠点を置き、総合的な介護支援を提供するシステムを作るなど福祉のまちづくりに重点を置く先進地である。

65歳以上も8,000人、22%の高齢化率を迎え、福祉を全体的にとらえ直した施策を実施中である。特に高齢者や障害児者、児童虐待、介護予防、どこに持っていけばいいかわからない福祉相談の窓口の一元化と、家族を総合的に支援する体制に特徴があった。

相談課の中に、初回の相談対応、調整や取次などの判断をする総合相談窓口と、業務範囲以外のため対応できない、単独係では解決が困難なケースを調整するサービス調整担当。この二つの役割がうまく連携がなされている。

本市においても、今後多岐にわたる相談内容に十分対応するためにも、参考にしていきたい。

- ◎樋渡 雅純 ○福田 喜一
- 前田 久年 井手 清敏 梶山 太
- 多久島 繁 草野 譲 高木 久彦

★1：診療報酬明細書。

★2：福祉・医療制度に現物給付方式を採用する自治体は国保に係る国庫負担金を余儀なくされること。

産業建設委員会

★所管 産業部、農業委員会、建設部、水道部

本委員会に付託されました条例議案1件、一般議案12件、補正予算4件について審査した結果、原案のとおり可決すべきものと決定しました。主な内容は以下のとおりです。

【産業部】

平成24年7月運行開始予定のコミュニティーバスの運行ルート（案）の経路をマイクロバスにて走行視察した。

伊万里市漁港管理条例の一部を改正する条例

波多津漁協の組合員所有の釣り船に対しては減免措置があり、一般所有のプレジャーボートについて使用料がかかるのは負担の公平性の点で疑問の質問があり、伊万里湾の開発による漁業権の縮小の経緯から、漁協組合員の方が持たれている釣り船については減免の方向との回答があった。
⇒減免の理由をもっと整理するよう指摘。

指定管理者の指定（伊万里市大川内山キャンプ場）

テントプレース15基すべて使用中の状況であるが、改修計画はあるのか。の質問に、修繕に

は全部で3,750万円が必要で、解体には約2千万円という財政負担がネックになるため、運営のあり方を教育委員会や地元とも協議をしていくとの回答があった。

指定管理者の指定

（中央駐車場、船屋町駐車場、幸善町駐車場、駅前駐車場、駅前広場駐車場及び駅前東駐車場）

9月議会での市営駐車場内事故の報告についてその後処理としては、市の責任も大きく保険も下りたので、市で対応し指定管理者には求償をしなかった旨、回答があった。

補正予算

市街地4km圏バス運行事業については、区長会等地元の意見を十分に吸い上げ、ルート、運行時間帯等を検討するよう意見があり、検討するとの回答があった。

【建設部】

路線の認定、路線の変更、路線の廃止

県から市への移管については、整備の不備な点について十分に今後の整備等の要望を地元から聞き、移管するよう要望した。区長会等からの要望を聞くとの回答あり。

行政視察報告（10月4日～7日）

茨城県ひたちなか市

「茨城港と北関東道路を活かした活性化策」
北関東道路・茨城港・茨城空港とインフラが整備され、工業団地も十分に確保されており震災というハンディはあるものの、今後の発展が十分に期待される地区である。

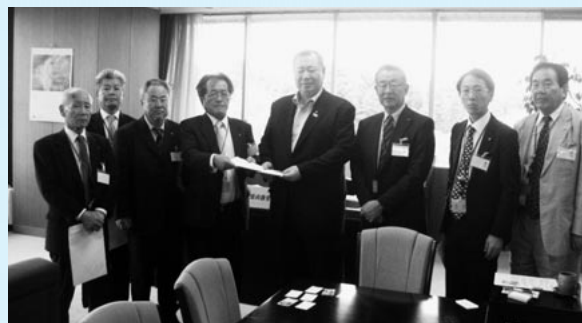


常陸大宮市

「森林を活かしたまちづくり事業とイノシシ対策」
常陸大宮市の有害鳥獣対策について、伊万里市の状況と比較しながら、意見交換を行った。

国土交通省等への要望活動

「西九州自動車道及び伊万里港の整備促進」について要望陳情を行った。
県選出国會議員訪問の後、民主党陳情要請対応本部、国土交通省道路局長、国土交通大臣政務官、港湾局長に面談。



東京都中央卸売市場 食肉市場視察

「全国肉用牛の流通状況」
資料説明の後、市場セリを視察した。

◎松尾 雅宏 ○前田 和人
香月 孝夫 井手 勲 松尾 博幸
笠原 義久 占野 秀男 田中 啓三

交通網・港湾・企業誘致 対策調査特別委員会

フオーローの風 だ！伊万里湾

西九州自動車道

西九州自動車道については、工事も順調に施工中であり、随時地元事業説明会も開催されている。地元の見解に対し真摯に対応しながら、整備を進めるよう求めました。

大坪木須線については、国道498号大坪バイパスと国道204号バイパスを結ぶ市道であるが、最大の懸案であった600メートル部分を県道として整備することを県が了承されました。

港湾

伊万里港が重点港湾に選定されたことに続き、平成23年11月11日には日本海側拠点港の「国際海上コンテナ」機能において選定されました。

東アジアに近いという地の利と、波静かで水深の確保できる伊万里湾の特性、官民一体となったポートセールス等これま

での地道な取り組みが評価をされた結果であり、今後の港湾整備事業進捗に大いに期待が持たれます。

新しい工業団地・臨港道路等、今後進めるべき港湾計画を早急に練り上げ、アジアの接点となることを望むものである。

企業誘致

世界の経済情勢は依然明るい兆しが見えず、市内企業も円高等の影響を受け、非常に厳しい状況である。また、東日本大震災の傷跡が癒えない中で企業を誘致することは大変困難な事ではあるが、波静かな伊万里湾を有し地震等災害の心配の少ない伊万里の特性をPRし、地道な企業誘致活動を続けてもらいたい。

◎多久島 繁 ○松尾 博幸
井手 清敏 井手 勲
松尾 雅宏 高木 久彦
福田 喜一

防災・環境施設対策調査 特別委員会

1. 伊万里市の防災行政

(1)国における原発防災区域の見直し

先の原子力安全委員会作業部会では、従来の原発事故に備えて防災対策を重点的に実施する地域（EPZ）が半径約30キロに拡大されるなど、原発に関する国の防災指針の見直し作業がようやく大きな進展を見せています。

委員会からは九電との安全協定の締結が重要なことであり、必要不可欠であるとの意見が出されております。

(2)佐賀県原子力防災訓練の実施

伊万里市が主催者として初めて加わった「佐賀県原子力防災訓練」が去る11月20日に実施された。本市からは、玄海原発に最も近接する波多津町木場地区から49人が参加しました。今後、改善すべき課題も見つかったとの報告があり、今後、医療施設、介護施設、福祉施設などの情報の共有、連携が必要になってくるとの意見がありました。

◎笠原 義久 ○副島 明
香月 孝夫 前田 和人
梶山 太 山口 恭寿
樋渡 雅純

議会運営委員会

改革案検討中

議会運営委員会は年4回開催される「定例市議会」と「不定期でその時々で開催される臨時議会」の内容と、会期内の議事日程を決めることを基本に、そのほかの「議会運営」に関するすべての事を、条例、規則、申し合わせ事項などに沿って協議決定します。

現在はこれまでの決まりや運営について改革が必要な事項があるのか、また改革してほしい等の議員からの要望を聞き「33項目」について検討をしています。

内容的には、急ぐもの、そうでもないもの、時間をかけて論議すべきもの等に分けて、10月からスタート、約2年かけてすべての決まりをもう一度総点検することになっています。

具体的な改革案が決まれば、全員協議会で確認し実施に移していくこととなりますので、その内容については「議会だより」などで報告をしていくことにしています。

また今年の4月の選挙後から「会派制」での議会運営になっていきますので、選挙で選ばれた議員全員がいづれかの「会派」に所属し、その代表で「代表者会議」と「議会運営委員会」を構成し議会運営に当たっています。なれない面もありますが、経験を積んでより良い議会運営ができるように努力中です。

◎占野 秀男 ○松永 孝三
東 真生 馬場 繁
草野 譲 渡邊 英洋
田中 啓三 盛 泰子

特別委員会・議会運営委員会報告

平成22年度伊万里市企業会計決算審査特別委員会

本委員会に付託された平成22年度水道事業、工業用水道及び国民健康保険病院事業の決算認定について、11月1日、2日及び4日に委員会を開催し審査をした結果、次の意見要望を付し認定すべきものと決定しました。

1. 水道事業特別会計決算

総収益12億3,773万3千円に対し、総費用10億1,906万7千円で、収支差引2億1,866万6千円の純利益となっている。

水道料金未納者には、給水停止措置などによって徴収成果はあがっているが受益者負担の公平性・公正性が損なわれないよう徴収対策を講じること。また、市民が等しく水道の供給を享受できるよう早期の未普及地区解消を要望する。

2. 工業用水道事業特別会計決算

総収益6億3,523万9千円に対し、総費用9億8,405万5千円で、収支差引3億4,881万6千円の純損失となっている。

景気の動向やユーザーの業況によって当会計の業績が左右されるのはやむを得ないが、供給先企業の水需要状況を把握し効率的な事業運営に努められたい。

3. 国民健康保険病院事業特別会計決算

総収益10億4,992万4千円に対し、総費用11億3,348万3千円で、収支差引8,355万9千円の純損失となっている。

伊万里市立市民病院は、これまで経営の安定化に努めたものの未処理欠損金を計上するに至った。当病院は、本年7月から伊万里・有田地区医療福祉組合の運営へ移行し、平成24年3月からは新病院において医療サービスを提供するが、新病院では安心・安全な医療はもとより経営の安定化を強く要望する。

◎草野 讓	○馬場 繁	副島 明
松尾 雅宏	多久島 繁	渡邊 英洋
笠原 義久	田中 啓三	福田 喜一

平成22年度伊万里市一般会計及び特別会計決算審査特別委員会

6日間の審査に加えて現地調査も実施し、全ての決算議案について認定すべきものと全会一致で決定しました。

1. 一般会計決算

決算内容については、広報10月号で詳しく述べられているが、以下の点について指摘する。

- ①市税・保育料・住宅使用料の収入率：21年度と比較して、いずれも上昇している。徴税職員をはじめ全庁挙げての取り組みの結果と受け止めるが、滞納額は依然として多く、その減少に向けてなお一層の尽力を望む。
- ②留守家庭児童クラブ賠償責任保険料：現年度分で7千2百円の未納があるが、万一の事故に対応するための保険料の一部であり、入所の際の必要条件とすべきである。
- ③大川内山キャンプ場：管理運営に129万円が支出されているのに対し、収入額が2万3千円であったため、現地調査を実施した。安全面からも非常に危惧される点が多く、今後のあり方については早急に検討すべきである。また、24年度の供用に当たっては、安全面や緊急時の対応などについて指定管理者との協議の徹底が不可欠である。
- ④ツル越冬事業：鳥インフルエンザの発生や拡大が懸念されるため、今後とも市内養鶏農家や事業区域の農業者等関係団体との協議の継続と、慎重な対応を求める。
- ⑤予算の効率的な執行：一昨年度の決算委員会で指摘した学校備品予算について、効率的な執行状況が確認出来た。今後とも全庁的に、厳しい財政状況の中で配分された予算の有効な執行を心がけてほしい。
- ⑥予算の流用と予備費の充用状況：予算流用のうち、原則的に予算の流用を禁止している科目への流用は13件、

140万9千円、予備費充用は38件、1,654万5千円であった。これらについて、提出された詳細な資料に基づき精査した結果、突発的な事故による修繕工事等、予測することが困難な緊急の支出に対応したものであると認められた。厳しい予算配分の中で止むを得ないことだが、補正予算での対応が可能なように、施設等の管理には予防保全の徹底を望む。

⑦関連資料の充実と決算書提出時期についての要請

- ・「決算事項別明細書」における報酬、報償費等には可能な限り人数を記載すること。
- ・「主要な施策の成果に関する説明書」の記述は、部署ごと事業ごとに濃淡があり、成果が記載されていない事例も多い。事業の評価につながるよう、具体的な成果について明確に記載すること。
- ・財務諸表が決算審査に極力間に合うよう努力するとともに、翌年度の予算編成に決算委員会の指摘が反映されるよう、決算書提出時期を9月議会当初へと早めるための検討を始めること。

2. 国民健康保険決算

管理職等による特別徴収や、資格証明書、短期保険証の発行等の方法で徴収に努めた結果、収納率は、いずれも前年度より上昇している。

社会情勢が厳しい中、国保会計を基礎自治体が持つことには限界もあり、広域化が検討されているが、今後とも収納率の向上と滞納額の解消に向けて努力されたい。

◎盛 泰子	○東 真生	香月 孝夫
前田 和人	井手 清敏	井手 勲
梶山 太	山口 恭寿	樋渡 雅純

一 般 質 問 (質問順)

議員名	質問事項	議員名	質問事項
山口 恭寿 (一問一答)	1. 伊万里市の水道行政について 2. 固定資産税の評価について 3. 乳幼児医療制度改正について	高木 久彦 (一問一答)	1. 「日本海側拠点港」指定に伴う伊万里港の発展策について (1)指定による港湾整備促進 (2)西九州自動車道との連携開発 2. 市役所職員の管理について (1)職員の健康管理 (2)来庁者に対する応接等指導
草野 謙 (一問一答)	1. 伊万里湾の総合整備について (1)重点港湾と拠点港湾に選定された事により、市長が描くグランドデザインについて (2)国、県の意向及び役割について (3)浦ノ崎地区のマイナス18m岸壁の建設実現について (4)伊万里湾の総合整備を強化する為の機構改革について (5)伊万里湾内の汚染について 2. 本市の防災行政について (1)避難訓練を実施しての課題点について (2)緊急情報伝達法の防災無線について (3)防災無線に取り組むならば工期について (4)そのシステムについて	松尾 雅宏 (一問一答)	1. 都市計画道路大坪・木須線と排水対策整備計画について 2. 西部広域環境組合のゴミ処理施設について 3. TPPに備えた伊万里市の農業施策について
占野 秀男 (総括)	1. 第4工水の収支状況と今後の見通しについて 2. 防災対策の作成と訓練について 3. 市街地4km圏内路線バス(いまりんバス2～3号)の運行計画について	副島 明 (一問一答)	1. 伊万里市散弾銃射撃場の中期、長期的方針について 2. 有害鳥獣対策と猟銃訓練場の在り方について 3. 伊万里市旅費規程(定額支給)について
樋渡 雅純 (一問一答)	1. 女性の視点からの防災対策 (1)女性委員の選任と役割 (2)防災計画への反映と取り組み (3)関係部局との連携強化 2. 住宅政策について (1)雇用促進住宅譲渡の現況 (2)空き家対策 (3)住宅弱者への支援	前田 和人 (一問一答)	1. 市政に関する市民アンケート調査結果について (1)調査結果の受け止め、認識のあり方 (2)調査結果の活用方法 (3)満足度の低い項目についての対策 2. 伊万里有田統合病院、開院に向けての最終準備について (1)開院時期について (2)医師確保の問題 (3)スタッフの待遇処遇の問題 (4)病院運営費の負担割合 (5)開院後の運営収支の見通し
盛 泰子 (一問一答)	1. 危機管理について (1)原子力防災について ①初めて訓練に参加しての問題意識 ②モニタリングポストの配置 ③県主催プルサーマル公開討論会(05年12月25日開催)問題 (2)情報ミックスへ向けた検討状況 (3)防災会議、国民保護協議会への女性委員増員 2. 消防広域化について (1)佐賀県消防広域化計画の内容 (2)今後の方向性 3. 横断歩道の管理について	井手 清敏 (一問一答)	1. 小中一貫校の取組みについて (1)県内の状況 (2)南波多中学校の現状 2. 国見台運動公園について (1)施設使用料の考え方 (2)陸上競技場のサッカー大会の使用状況
		香月 孝夫 (一問一答)	1. 伊万里港、「日本海側拠点港」選定による将来展望について (1)埠頭整備について (2)コンテナ取扱量について (3)企業誘致などについて (4)伊万里港の展望 (港湾振興による市内経済への波及効果など)について

一般質問

伊万里市の水道行政

山口 恭寿

質問 現在伊万里市では特に大坪町の屋敷野地区・南波多町の大野岳地区・波多津町の大知木・深谷地区が水道の事で困っている。4地区の展望についてお聞きします。

答弁 水道部長
国の補助を使い屋敷野・大野岳地区は平成25年度までに、その後波多津の大知木・深谷地区を予定している。

固定資産税の評価

質問 固定資産税の評価を決める固定資産評価員を市の税務課長が兼任しているが、客観性が業務に要求されることから、民間または有識者に出来ないか。

答弁 総務部長
平成19年3月総務省の通達では固定資産評価における民間有識者の活用におい

ては審査の申出の対象となるのが課税側の説明責任が生ずること、さらに実地調査については罰則によって担保された質問検査権が与えられていることから民間委託はなじまないとの見解が出ている。

質問 固定資産評価審査員くらいは有識者で出来ないか？

答弁 事務局
現在各地区より9名の方を選出しているが、ご指摘のように検討していく。

乳幼児医療制度

質問 来年度伊万里市の乳幼児医療の助成事業は近隣自治体と比べるとかなり後れをとってしまう。市として今後どのように考えているか？

答弁 市長
指摘のあった通り現在のままだと県下最低のレベル。そこで小中学生の入院医療費の助成事業を来年度から始めたい。

伊万里湾の総合整備

草野 謙

質問 伊万里湾が国の重点港湾と日本海側拠点港として選定された。将来の本市の発展に明るい希望を持つが、市長はどんなグラウンドデザインを描き、どんなビジョンを考えておられるのか。

答弁 市長
伊万里湾が選定されたのは水深が深い、アジアに近い、物流港として伸び代があるなどが高く評価されたものだ。浦ノ崎地区の埋立地を早く行いマイナス18m岸壁の建設が先ず第一だ。更に小島までの護岸工事を行いそこを埋立て団地化を形成する。電気代替エネルギーなどの企業誘致や観光船の誘致も行いたい。

質問 マイナス18m岸壁の早期実現が最大の課題だ。この岸壁の実現こそが本市百年の大計であり礎である

と思うが、考えは。

答弁 建設部長
その通りだと思う。護岸工事とその埋立工事をスピード感を持って取り組む。

質問 これから伊万里湾総合整備の担当部署は本市の重要なポジションだ。この部署の機能強化を目指し、機構改革を行う考えはないか。

答弁 市長・政策経営部長
最重要課題と考えている。今ある伊万里湾開発推進本部の強化を図り、国に港湾開発のプロ的な人材の派遣をお願いしたい。

防災行政

質問
①本市の防災行政の基本的な考え方は。
②緊急情報伝達法の防災無線整備について

答弁 総務部長
①様々な災害を想定して対策を立てているが自助共助公助の精神で行く
②必要性は認めているが計画策定までには至っていない。

第4工水の運営と見通し

占野 秀男

質問 第4工水は170億の大事業で完成、給水しているが、その90%を占める(株)SUMCOの利用が計画の3割程度、今後の運営に問題はないのか。また、法人市民税の増収、雇用は1000名を超えと言われたが、目標通りか。

答弁 水道部長
返済は一般会計からの繰り出しもあり心配ない。工水利用は34%程度で赤字だが、直ちに必要ない減価償却費もあり心配はない。雇用も1100人で問題ない。

原発防災対策と地域協力

質問 防災対策について自然災害もあるが玄海原発の事故に対する市民の不安は大きい基本的には国、県の方針を受けてからになると思うが伊万里市でできる地



域の方々との協力体制を強く考えるべきではないか。

答弁 総務部長

地域には区の役員さん等で組織した「地域防災対策」があり今後も協力して防災対策を充実していきたい。

いまりんバス2号は

質問 大坪バイパス完成後に「いまりんバス」を拡大すると約束されていたが、今回2台を追加する予算がついた。その運行経路、運賃など計画内容は。なお、資料は先に配布するよう検討されたい。

答弁 産業部長

現在のいまりんバスは変更せず、新たにA、B、Cの3コースで、バス運行路線を外し伊万里駅を起点とし、住宅の多い市内4キロ圏を計画、週2回、1日4便で計画している。料金は大人100円、子供50円。運行は24年7月から予定。

女性の視点からの防災対策

樋渡 雅純

質問 今回の大震災の教訓から、全国でこれまでの防災対策を見直す動きがあつており、特に災害時における女性の視点の大切さが浮き彫りになり自治体の現状や課題が明らかになっていく。

①防災会議の委員構成と役割は。

②国の防災計画には「女性の参画・男女双方の視点」「政策決定過程における女性の参加」が明記された。積極的な選任があるべきでは。

③災害時においては食糧・生活用品等の確保が重要。各業者との幅広い緊急時の協定を結ぶべきでは。

④防災担当部署と他との連携は、全国的には46%。計画素案の策定や、平素から意見交換や調整でも連携すべきでは。

答弁 総務部長

①条例により国、県、市の職員や公共的団体の役員により25人で構成。一人

は地域婦人会会長にはいってもらい、非難計画や改定の折には女性の立場で発言してもらっている。

②女性の視点が必要なきにはワーキンググループに女性メンバーを選任したい。

③今後検討していく。

④防災関係事務には4人の女性が入っている。グループ構成時には人選を依頼するなど、町づくり課と連携を図る。

空き家対策

質問 全国的に空き家が増加し、防犯、防災、環境の面から苦慮される。その率は13%。本誌の状況は、また総合的な相談を一元化する必要があると思うが、今後一歩踏み込んだ対応も出てくる可能性がある。「空き家の適正管理に関する条例」等の条例もあつている。市も研究をお願いしたい。

答弁 市民部長

統計調査によれば、市の場合2330戸、12.3%である。一元化に関しては市民にとってわかりやすい部署はどこがいいのか関係部課で協議する。

横断歩道の管理

盛 泰子

質問 市内各所で横断歩道の白線が消えかかっている。県警の管轄ではあるが安全上の問題。各町区長会で町内の優先順位を出して頂き、県警へ参考資料として提出してはどうか。

答弁 総務部長

県警の判断ではあるが、そのような方向で協議する。

危機管理

質問

①9月議会で質問したモニタリングポスト(国・県予算分)の配置は。

②平成17年県主催「ブルサーマル討論会」に出席した市長として「やらせ」などの隠蔽体質をどう考えるか。

③東日本大震災以後、防災会議等にもっと女性を！との動きがある。現在は25人中1人であり、増員を。

答弁 ①総務部長、②③市長

①国予算分は伊万里総合庁舎に、県予算分は今後協議する。

②原発は安全性の確保が第一であり、やらせや仕込み質問があつたようだと騒がれていること自体が問題。絶対にあつてはならない。あつたとしたら言語道断だ。

③避難所運営などに女性の視点は不可欠。委員メンバー全体を見直す必要性を感じており、女性の委員を増やす。

消防広域化

質問

県内で単独消防は伊万里と有田のみとなるが広域化へ向けた協議は。現在の人員充足率は県内全体でも66%に過ぎず、人的確保のためにもしつかり協議を。

答弁 消防長

統合は消防救急無線デジタル化経費が節減になる他、活動強化にもつながるため、関係機関としつかり協議する。

「日本海側拠点港」指定に伴う伊万里港の発展策は

高木 久彦

質問 伊万里港が、国の「重点港湾」指定に続き、今回「日本海側拠点港」に指定されたが、早急に伊万里港開発構想を策定すべきではないか。

答弁 政策経営部長

県は、唐津港と統合し「西九州港」として提案したが、伊万里港は、単独でコンテナ貨物の「機能別拠点港」の指定をうけた。

答弁 市長

拠点港指定は、市にとつてこの上ない喜びである。浦の崎地区は、波静かで水深もあり、コンテナ船の大型化が進むなか十分対応できる港である。久原の小島地区から浦の崎地区の廃棄物処理用地までをつないで、大型の団地造成を計画したい。そして将来は、更

に七ツ島と結ぶ「新伊万里湾大橋」架橋の考えも持っている。浦の崎地区の開発については、構想策定委員会を立ちあげ、取り掛かりたい。

市役所職員の健康管理

質問 定年退職を待たずに亡くなるとか、長期に休んでおられる職員が多いようであるが、健康管理はどうしているか。

答弁 総務部長

この10年間に12名が在職中に死亡されており、長期休暇者も多い。定期健康診断や再検査も受診率は高い。病気は早期発見が大事であり、更なる健康管理に努めたい。

答弁 市長

他市の状況を聞くと、在職死亡が多いことを聞く、健康管理については、配慮を強めるとともに、職員自身にも自己管理を促したい。

県道大坪木須線整備計画と排水対策

松尾 雅宏

質問 大坪木須線は市民センターまでの供用となつているがその先600mの未整備区間の計画はいつか。

答弁 建設部長

議員質問の区間は現在市道でありませんが、今回道路再編計画により、県に移管し整備を行って頂く事になります。その事により5年を目処に行う予定です。

質問 その地域はゼロメートル地域で度々冠水をしているが道路整備に伴う排水対策は。

答弁 建設部長

排水対策については、公共下水道事業にて既存溜池の整備と強制排水するためのポンプ設置を致しますが、すでに法手続きやポンプ場設置場所の検討を始めております。

西部環境組合ゴミ処理施設

質問 ここにきてシステムの変更があったが何故か。

答弁 市民部副部長

大きな理由が2つあります。1つは施設の安定運営面で、スラグがセメントより利用の先行きが確実である事。2つ目は最終処分場の縮小化が図られる事。

質問 今後建設にあつて造成工事、建設工事共、市内業者が請け負う配慮は出来るか。伊万里市に作る以上権利と考えるが。

答弁 市民部副部長

その様に組合議事に働きかけます。

TPPに備えた

伊万里市農業施策

質問 中山間地に展開する伊万里市水田農業にはコスト低減に限界があるが方策は。

答弁 市長・部長

伊万里市水田農業を堅持するため市としましても各種制度事業に積極的に取り組めます。又、農地・水・環境保全事業は農村に必要な事業と認識しており第五次総合計画に織り込んでいきます。

伊万里市散弾銃射撃場

副島 明

質問 今の施設は体育施設としての射撃場であると思うが、鉛の処理が済んだ後、伊万里市として施設の必要性の考え方は。

答弁 教育長

利用者も減少し、環境の面から考えても存続は考えていない。

有害鳥獣対策と猟銃訓練場

質問 有害鳥獣駆除の銃の訓練、講習の場所としての必要性は考えているのか。

答弁 産業部長

伊万里市で新しく施設の建設は考えていない。今後は県の施設を利用していただくが、交通賃の補助などは考えていきたい。

質問 埋設場所の市有地の利用は考えられないか。

答弁 産業部長

埋設が集中することは好ましくないので、各地域から場所の利用の申し出があれば考えてみたい。

質問 一頭あたりの報奨金の額を下げてでも年間を通

一般質問

じて支給することはできないか。

答弁 産業部長

農産物の被害を防ぐために県の制度を活用しているため、難しいと考える。

伊万里市旅費規程

質問 新聞の報道を受けて、今後、市として旅費についてどのように取り扱うのか。

答弁 市長

執行部の旅費規程にも影響があり、議会の総意も必要であることから他の自治体とも話し合い検討したい。

質問 旅費規程のなかに日当とあるが、市民は賃金と解釈しておられる方が多く、名称も含めて廃止できないか。

答弁 総務部長

日当とは、旅費の種類のひとつで、旅行中の昼食費を含む諸雑費でありますので賃金ではありません。

質問 規定のなかに航空賃は、現に支払った旅客運賃による。とあるが、確認できるようにするために領収書の添付が必要ではないか。

答弁 総務部長

定額を実費として運用しており、過不足が出ていても確認方法の規定はありません。

市政に関する市民アンケート調査結果

前田 和人

質問 アンケートは、行政評価における第三者評価として、市民の評価を受けたもので、重く受け止めるべきであるが、その認識は。

答弁 政策経営部長

真摯に受け止め、原因を分析して、対策を講じていく。

質問 来年度予算編成にもぜひ反映させていただきたいし、継続実施し、その変化も参考にすべきと思うが。

答弁 政策経営部長

市民アンケートは、専門家による外部評価と一年毎に交互に行っていく予定。

伊万里有田統合病院

質問 伊万里有田統合病院の開院時期について、三月に前倒し開院の報道があつ

たが、医師の確保や、医療スタッフの待遇面での調整、運営費の負担割合など、目途が整つてのスケジュールか。

答弁 理事

スタッフの待遇は、国レベル給与体系で合意し、説明会を実施している。また、運営費の負担割合は、当面、建設費の負担割合と同等として、三年後に見直しをする予定。

質問 開院後の運営収支見通しは、目論見の数字が確保出来得る状況であるか。

答弁 理事

当面の赤字スタートから、七年後の黒字転換を目指して努力していく。

質問 市長には、最終の課題解決に、強いリーダーシップを発揮する必要があるが。

答弁 市長

医師の確保について、一定の目途が立ち安堵している。三月開院に向けての最終準備、怠りなく鋭意努力していく。

小中一貫教育の取組

井手 清敏

質問 県内の一貫校の取組み状況と考え方について。

答弁 教育部長

平成18年から県内5校が取組みをされている。現在鳥栖地区4校と多久、小城が実施予定です。考え方としては、学習、生徒指導など9年間を貫く学びを通して、学力の向上や中一ギャップの解消、豊かな人間性を育み、教育力の向上や地域の活性化などの成果が挙げられています。

質問 南波多中学校の状況と付帯決議について。

答弁 教育長

南波多中学校は老朽化しており15年前の決議事項では、伊万里中学校との統合を検討することになっているが、地元としては、地域の学校として中学校を残すことを希望する声もあり、

南波多中学校の小中連携教育の取組みも進む中、今後は要望を受け市内全域も視野に入れて規模適正化協議会を開き、小中一貫校への移行を含めて検討することが必要と考えている。

国見台施設使用

質問 国見台球技場のナイター料金安くないか、また、陸上競技場の芝コートでのサッカー使用はどうか。

答弁 教育部長

ナイター使用料は使用許可基準で運用され、電気料金に対して使用率が半分で、倍の設定となっている。理解していただいた。競技場芝グラウンドの使用は、芝の維持管理の面から、少年サッカーニューイヤ大会と全国規模の九州大会決勝、準決勝使用となつているが、今後は県レベルの大会での決勝戦ぐらいは前向きに検討したいと思います。

伊万里港、「日本海側拠点港」選定による将来展望

香月 孝夫

質問

- ① 拠点港整備の工事進捗と完成見込は。
- ② 埠頭設置のピット（係船柱）強度は。
- ③ 一部未完成の伊万里湾大橋など整備状況は。

答弁 建設部長

- ① 埠頭や荷揚設備は順調に進捗し、新たなコンテナ基地の整備は平成24年度完了見込み。
- ② マイナス13m岸壁へ、最大荷重100トン9基・50トン5基設置。
- ③ 新たに平成25年度完成を目標した「臨港道路七ツ島線」、伊万里湾大橋の未完成部分は3年程度を目標に完成を目指したい。

質問 政策経営部長

開設から平成22年までの13年間の総取扱量の伸張は5・7倍へ。平成22年度

取り扱い品目上位は「輸入が家具37・0％・飼料13・4％・雑貨12・7％」「輸出は古紙72・0％・機械等5・4％・窯業製品5・0％」の順である。「中国・東南アジア・韓国」が主な相手国。

質問 企業誘致及び工業団地の状況は。

答弁 産業部長

伊万里団地は売完。七ツ島工業団地の残用地（19・9ha）も企業からの引き合いがある。市保有の遊休地や民間の工業跡地（24件33ha）を有効活用したい。

質問 伊万里港の及ぼす市内経済への効果などは。

答弁 市長

新規の航路開設やポートセールスなどが順調に進捗するならば、平成37年度に年間おおよそ832億円規模の波及効果を県が予測している。また浦ノ崎地区の開発も今後の重要課題であり慎重に検討を行い、併せて大型観光クルーズ船の寄航も視野に入れた港全体の活用を考えたい。



伊万里高校書道部



伊万里小学校コーラス部

編集後記



新年をお健やかに迎えることとお慶び申し上げます。

議員は年賀状に制限（受け取った賀状への返礼で両面とも自筆のみ可能）があり、失礼の事もあつたかと思えます。ご容赦ください。

昨年、議会および市の旅費支出に関しての指摘を受けましたが、現在、改正に向けて検討中です。何事にもスピード感を持って、積極的な改革に努めたいと思います。

3月には新しい「伊万里有田共立病院」がオープンします。地域のかかりつけ医を大事にしつつ、同時に、新しい病院での先進医療に期待がふくらみます。

伊万里市はもとより、日本全体が明るい話題に包まれる辰年となりますようにご祈念申し上げます。

今年も議会だよりへのご意見・ご要望をお寄せください。（多）

編集委員
◎多久島 繁○盛 泰子

香月 孝夫 前田 和人
松永 孝三 松尾 博幸

顧問
前田 久年 占野 秀男

樋渡 雅純



発行

伊万里市議会
伊万里市立花町一三五五一
0955-1231-2594
0955-1231-1277
E-mail: gikai@city.imari.jp

編集

市議会だより編集委員会

印刷 山口印刷株式会社